

# 日本膝関節学会会誌『膝』投稿規定

1. 投稿資格：本学会会員に限る。
2. 投稿内容：① 本学会で発表された演題に関する原著論文  
② 膝関節外科およびその関連領域に関する原著論文および症例報告等（未発表のもの）
3. 投稿期日：上記①および②のいずれに関しても、その提出は学会当日から3ヵ月以内とし、学会事務局（神戸大学整形外科内：〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1）に提出する。
4. 査読：編集委員会の責任で査読を行い、論文の採否を決定する。
5. 倫理：雑誌「膝」に投稿される総ての臨床研究は、著者の責任において The World Medical Association Declaration of Helsinki（ヘルシンキ宣言）に従って行われたことを明記しなければならない。また総ての症例報告は、患者もしくは関連する人物、必要とされる写真の使用についてインフォームドコンセントが得られていることを明記しなければならない。例えば「患者もしくはその家族は、得られたデータが掲載されることについて説明を受け、その内容について同意した」という記載が必要である。患者の氏名、イニシャル、IDナンバー、および身分を示す情報などは使ってはならない。ある大学・病院・機関から発表された論文は、その大学・病院・機関の承認の下に提出されたものとみなされることを理解の上、論文を提出しなくてはならない。人間が対象である研究では、「症例（対象）と方法」の記載の中に Institutional Review Board (IRB) による承認を得ていること、および患者もしくは被験者からインフォームドコンセントが得られていることを明記しなければならない。特に Randomized control study は CONSORT 声明 (CONSORT statement) ([www.consort-statement.org](http://www.consort-statement.org)) に準拠して行われるべきであり、これを報告するときにはその旨を論文に記載しなければならない。動物を用いた実験的研究では、「材料と方法」の記載の中に IRB の承認を得ていること、著者が属する施設における動物保護のガイドラインに従ったこと、もしくは実験用動物の保護と使用に関する国際法に従ったことを明記しなければならない。もし核酸塩基配列のオリジナルデータについての発表をすれば、得られたデータは GenBank ([www.ncbi.nlm.nih.gov/Genbank/](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/Genbank/)-26k) に提出し、得られた承認番号を原稿に含めなくてはならない。

6. 体 裁：1) 論文は6,000字程度(400字詰原稿用紙15枚以内程度)(写真・表を含まない)とする。
- 2) 表紙には邦文で表題(英文併記),すべての共著者名(英文併記),所属機関(英文併記)を書く。
- 3) 600字以内の和文抄録(英文は不要)および日本語キーワード3個(英文併記)を添付する。
- 4) 表, 図, 写真は一括して原稿の末尾に添付する。
- 5) 筆頭著者は共著者すべての自筆署名をした「投稿承諾書」(書式は別に定めて, この投稿規定の最後に示す)を提出するものとする。またその「投稿承諾書」には, 論文の指導責任者(筆頭著者が指導責任者の場合は筆頭著者)の署名・捺印を必要とする。また「投稿承諾書」に日本膝学会学会賞に応募の意思の有無を明記し, 「有」の場合はBasicaとClinicaのどちらに応募したいのかを明記する。
- 6) 論文(表紙, 本文, (図・写真・表およびそのタイトル・説明文を含む), 文献, 要旨)は本原稿のほかにコピー2部及び電子媒体(FD/CDなど, デジタル画像の場合は画像も含む)を添えて学会事務局に提出する。
7. 主 文：1) 学会演題は口演原稿そのままではなく, 簡潔に論文形式にまとめる。原著論文の小見出しは「はじめに」, 「症例(または材料)と方法」, 「結果」, 「考察」, 「文献」の順とする。また症例報告の小見出しは「はじめに」, 「症例」, 「考察」, 「文献」の順とする。「まとめ」, 「結語」は不要とする。
- 2) 学術用語は日本整形外科学会及び関連学会で慣用されている専用用語を使用するものとする。
- 3) 図, 表, 写真を挿入する位置を欄外に赤字で明記する。
- 4) 数字はアラビア数字(1, 2, 3…)を使用するが, 成語はそのまま記載する。(例: 一般, 同一, 1回)
- 5) 単位符号はCGS単位とし, 単位符号の後には省略記号(.)をつけない。
- ① 長さ, 面積, 容積:  $A^{\circ}$ ,  $\mu\text{m}$ ,  $\text{mm}$ ,  $\text{cm}$ ,  $\text{m}$ ,  $\text{km}$ ,  $\text{mm}^2$ ,  $\text{cm}^2$ ,  $\text{m}^2$ ,  $\text{cm}^3$ ,  $\text{m}^3$ ,  $\text{ml}$ ,  $\text{dl}$ …
- ② 質量:  $\mu\text{g}$ ,  $\text{mg}$ ,  $\text{g}$ ,  $\text{kg}$ …
- ③ 時間:  $\mu\text{sec}$ ,  $\text{msec}$ ,  $\text{sec}$ ,  $\text{min}$ ,  $\text{hr}$ , 分, 時…
- 6) 日本語になる欧語(例: ligament)は日整会用語集に従い, なるべく日本語を使う。
- 7) 人名はカナ書きを避け, 横文字で記載する。(例: Wrisberg 靭帯, Hoffa 病)

8. 図表：1) 図表(写真を含む)は併せて5枚以内とし、超過分は実費を徴収する。  
2) 図は、原図をそのまま使用するので完成されたものを提出する。  
3) 図の中に入れる文字または矢印などは原図に記入して提出する。  
4) 図、表の題ならびにその説明は別紙に記載し、この際原則として日本語を使用し、引用外国人名は原図のまま記載する。  
5) 図・表の裏面に主著者名、番号(図-1、表-1等)、天地を記載する。  
6) 写真は全てB5判の用紙に貼り付けて提出する。  
7) カラー写真を使用する場合は実費負担とする。
9. 文献：1) 10篇程度の重要なものにとどめ、文献の配列は著者名のアルファベット順に並べ番号をつけ、本文中の引用箇所には肩見出し番号を入れる。  
2) 同一著者名の文献が複数ある場合は年代の古い順に並べる。  
3) その記載方法は日整会誌投稿規定に準ずる(共著者は3名まで記載とする)。
10. 校正：用語、表現などについては編集委員会の責任で、この投稿規定に従い修正を命じることがある。尚、最終的な採否については編集委員会において決定する。
11. 規定枚数の超過：規定を超えたものは印刷実費および超過頁数を組頁1頁単位で著者負担とする。  
(当分の間本文が5頁を超えた場合、1頁につき10,000円)
12. 別刷：別刷は30部まで無料とする。なお、それ以上必要とする場合には投稿時申し出、実費有料とする。  
別刷代金等は掲載紙発行後請求する。また別刷は別刷代金納入後に送付する。